

下松市・記者発表（配布）資料

令和8年6月24日

部 課 名	課 長	担 当	連 絡 先（直通）
健康増進課	宮本 陽子	藤井 有希	0833-41-1234
1. 件 名	くだまつ健康マイレージ事業「くだまる健幸プラス」の開始に伴う市長デモンストレーション		
2. 目 的	市民の健康寿命の延伸を目的に、7月1日から開始する健康アプリ「くだまる健幸プラス」を広く周知するため、市長がアプリを体験します。 本事業は、市と「下松市における健康づくりの推進に関する連携協定」を締結している㈱タニタヘルスリンク（東京都渋谷区）の「タニタ健康プログラム」を導入しており、当日は同社の土志田代表取締役社長が同席します。		
3. 日 時	令和8年7月2日（木）13時～		
4. 場 所	下松市役所3階市長応接室		
5. 主催者	下松市		
6. 内 容	1. 事業概要説明 2. 市長挨拶 3. 土志田社長挨拶 4. 記念撮影 5. 市長によるアプリ体験（体組成測定など） 6. 歓談		
7. 参加者	■下松市 市長 國井 益雄 副市長 玉井 哲郎 健康福祉部長 桑原 健一 ■㈱タニタヘルスリンク 代表取締役社長 土志田 敬祐（としだ けいすけ） 様 ほか		
8. その他	「くだまる健幸プラス」の事業概要については、別紙をご参照ください。		

くだまつ健康マイレージ事業「くだまる健幸プラス」の概要

1. 目 的
下松市民の健康寿命の延伸と健康増進を目的として、新たな健康ポイントプログラム「くだまる健幸プラス」を開始する。
スマートフォンアプリを活用し、歩数や健康測定データを記録することで、個々のライフスタイルに適した健康習慣の定着を図るとともに、活動実績に応じたインセンティブの付与により、楽しみながら継続できる仕組みを提供する。
また、本事業を通じて、市民の行動変容や健康状態の変化を把握し、今後の健康施策の充実につなげる。
2. 内 容
参加者は、スマートフォンに専用アプリを登録し、①はかる→②わかる→③きづく→④かわるのサイクルで自身の身体の状態を把握することで、健康づくりを習慣化させる。
楽しみながら継続できる仕組みとして、健診（検診）受診や歩数、血圧・体組成の測定等で健幸ポイントを付与し、貯めたポイントは、最大 1,000 円分のデジタルギフトに交換可能。ポイントの残余は、抽選に応募可能。
①はかる
歩数のほか、血圧・体組成を測る。
②わかる
計測結果を見て自身のからだの状態が分かる。
③きづく
身体の変化や健康コンテンツで健康課題に気づく。
④かわる
行動変容を促すコンテンツで生活習慣が変わる。

その他、バーチャルウォーキングラリーなど、楽しみながら参加できるイベントの開催や健診、生活習慣データから将来の健康リスクを AI が予測できる機能も備え付ける。
3. 対 象 18 歳以上の下松市民
4. 定 員 500 人
5. 期 間 令和 8 年 7 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日
※ポイントの付与は令和 9 年 2 月 28 日まで
※ポイントの交換は令和 9 年 3 月 14 日まで

6. 本事業で活用するシステム

本事業では、株式会社タニタヘルスリンクが提供する健康づくり支援サービス「タニタ健康プログラム」を活用する。同プログラムは、全国の自治体や企業等において導入実績があり、歩数管理や健康ポイント機能に加え、体組成計や血圧計による測定データの管理・分析などを通じて生活習慣の改善から実践までをサポート。

また、参加者は健康管理アプリ「ヘルスプラネット」（無料）を利用することで、日々の歩数や体重、体脂肪率、血圧などの健康データをスマートフォンで確認でき、自身の健康状態の変化を継続的に把握することができる。

7. その他

本年4月に株式会社タニタヘルスリンクと「下松市における健康づくりの推進に関する連携協定」を締結